

参考資料-1

GIS インターフェイス操作説明書

目 次

1. 動作環境.....	1
2. システムのインストール	2
3. システムの起動	4
3-1. 現況データを読み込みシステムを起動する	4
3-2. 保存データを読み込みシステムを起動する	5
4. 基本条件設定.....	7
4-1. フレーム修正	7
(1). 人口・汚水処理形態別人口.....	7
(2). 土地利用.....	10
(3). 家畜頭数.....	13
(4). 事業所・工場.....	15
4-2. 原単位設定	17
4-3. 計算定数設定(流域モデル)	18
4-4. 計算定数設定(湖沼モデル)	19
5. 対策量の設定.....	20
5-1. 流域対策.....	20
(1). 下水道・高度処理型合併浄化槽整備.....	20
(2). 各戸雨水貯留・浸透.....	22
(3). 透水性舗装.....	24
(4). 下水処理水の再利用.....	26
(5). 湿地・湖内湖浄化.....	28
(6). 環境保全型ライフスタイルへの転換	30
(7). 環境保全型農業.....	32
(8). 家畜し尿の農地還元.....	34
(9). 調整池	36
(10). 地下汚濁物質の囲い込み.....	38
(11). 下水処理場の高度処理化.....	41
5-2. 湖内対策.....	43
(1). 浄化用水導入	43
(2). 浚渫.....	44
(3). 植生浄化.....	45
(4). シジミ浄化.....	46
(5). 水産負荷.....	47
(6). 重点再生エリア.....	48
6. モデルの実行.....	49
6-1. モデルの実行.....	49
6-2. 条件設定前後の比較	50

7. 結果の可視化	51
7-1. 蒸発散モデル.....	51
(1). コンター.....	51
(2). 指定メッシュの経時変化.....	53
7-2. 地下水モデル.....	55
(1). コンター.....	55
(2). 指定メッシュの経時変化.....	57
7-3. 地表流モデル.....	59
(1). コンター.....	59
(2). 指定メッシュの経時変化.....	60
7-4. 河道流モデル.....	61
(1). コンター.....	61
(2). 指定メッシュの経時変化.....	61
7-5. 人工系モデル.....	62
(1). 汚水量.....	62
(2). COD 負荷量.....	63
(3). T-N 負荷量.....	64
(4). T-P 負荷量.....	65
7-6. 湖沼モデル.....	66
(1). 時系列変動図.....	66
(2). 年平均値.....	68
8. オプション	70
8-1. データの保存.....	70
8-2. データを現況に戻す.....	72
8-3. 施策設定ログの表示.....	73
9. 施策実行範囲の選定	74
9-1. 流域指定.....	74
9-2. 市町村指定.....	75
9-3. 任意にメッシュを指定.....	76
10. システムのアンインストール	91